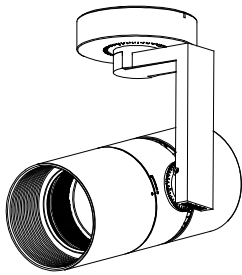


姿図



## 仕様

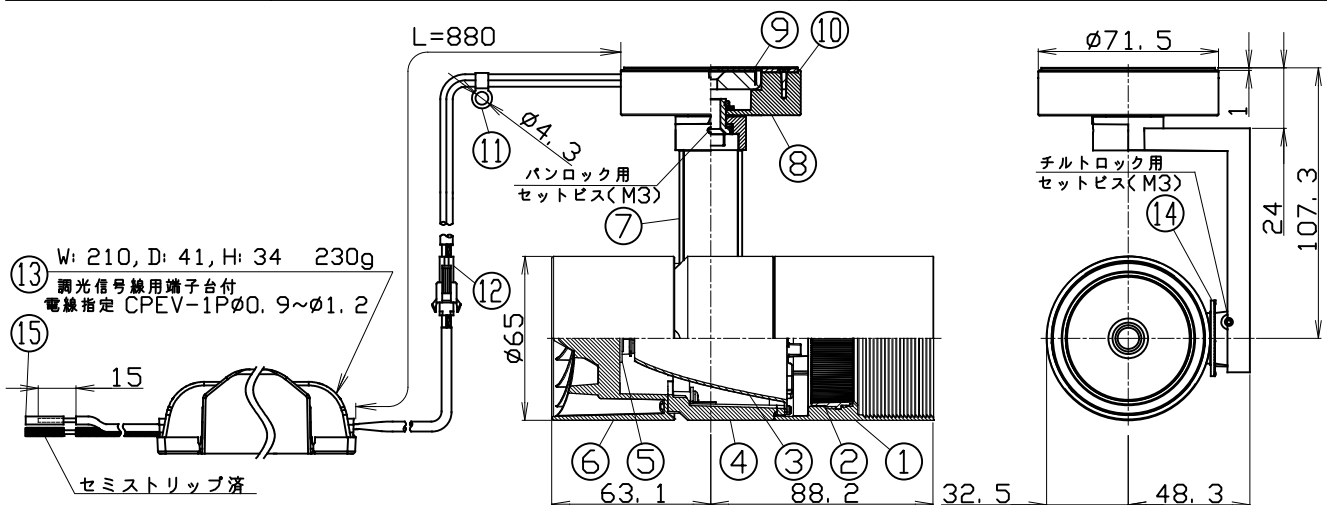
- 光源 LEDモジュール (装着済)
- 配光 ナロー(N)、ミディアム(M)
- ボディ ホワイト(W)、マットブラック(M)、シルバー(S)
- 首振り角度 上10度 下90度
- 回転角度 380度
- 調光方式 DALI制御方式 (L1)
- 入力電圧 100V±6%、200V±6%、242V±6%(専用ドライバー入力)
- 入力電流 0.213A(専用ドライバー100V入力時)  
0.110A(専用ドライバー200V入力時)  
0.097A(専用ドライバー242V入力時)
- 消費電力 21.3W(専用ドライバーを含む。100V入力時)  
22.2W(専用ドライバーを含む。200V入力時)  
23.3W(専用ドライバーを含む。242V入力時)  
※消費電力はJIS C 8105-3の試験測定方法による
- 専用ドライバー 定電流型 (50/60Hz共用)
- 器具入力電圧 36.9V
- 器具入力電流 0.48A
- 質量 790g(専用ドライバー込み)
- パン、チルトロック用工具付属

## 製品コード

MMP-080S/3H/W・M・S/MS/N・M/10B27/L1/1  
MMP-080S/3H/W・M・S/MS/N・M/10B30/L1/1  
MMP-080S/3H/W・M・S/MS/N・M/10B35/L1/1  
MMP-080S/3H/W・M・S/MS/N・M/10B40/L1/1

## オプション

フルディフューザーレンズ MLA-080/DF01  
セミディフューザーレンズ MLA-080/DS03  
フルスプレッドレンズ MLA-080/SF01  
セミスプレッドレンズ MLA-080/SS01  
エッジコントロールレンズ MLA-080/EC02  
シャープナー (N配光専用) MLA-080/SH01

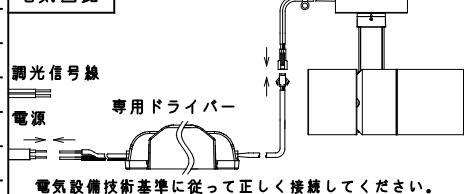


	品名	材質	摘要
1	フード	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
2	オプションホルダー	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
3	リフレクター	アルミ	
4	ボディ	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
5	LEDモジュール		
6	ソケット	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
7	アーム	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
8	マグネットケース	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
9	マグネット		
10	マグネットカバー	樹脂	滑り止めシート適用
11	セーフティクリップ	真ちゅう	
12	セーフティコネクター	樹脂	
13	電源ドライバー		DALI制御方式調光対応
14	チルトプロトラクター	樹脂	
15	入力ケーブル		白、黒 AWG16 より線1.25mm <sup>2</sup>

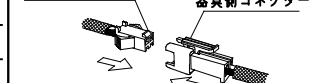
## ご注意

- LEDにはバツキがある為、同一品番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 器具の近くでラジオ・テレビ等を使用しないでください。雑音が入る場合があります。
- 器具の改造は危険ですので、絶対に行わないでください。
- 灯具を上向きに照射しないでください。発光部に埃が積もり、火災の原因になる恐れがあります。
- ドライバーは専用ドライバーを使用してください。
- 1次側電線は、直接入力ケーブルに接続してください。
- 専用ドライバー(1次側)には、送端子台はありません。
- 電気回路への接続の際には、JIS C8155規格に沿って容量計算してください。
- 調光にはDALIシステム調光器 (Device Type6) をご使用ください。
- 器具は、照射物より0.2m以上離してご使用ください。
- 周囲温度0℃～35℃の範囲でご使用ください。
- 不用意に器具に触れるとやけどの恐れがあるため、雷付・調整者以外がアームズリーチ内に寄り付けない手段を設ける、もしくは手が触れられぬよう器具に囲いを設けてください。

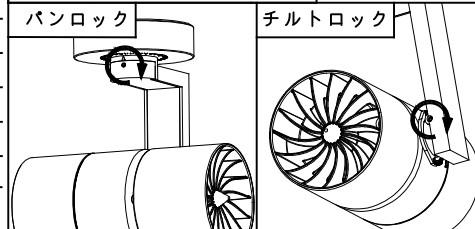
## 電気回路



ドライバー側コネクター 器具側コネクター



パンロック チルトロック



- パン、チルトがロックした状態で灯具を動かさないでください。
- 落下防止のため、器具側ケーブルに付属されているセーフティクリップをネジ (M4) で強固な場所に必ず取付けてください。
- 器具は必ず、凹凸の無い鉄板に取り付けてください。
- 器具を取りつけた後は、十分な保持力が確保され、落下しないことを確認してください。
- ベースメーカーなど電子医療機器に器具を近づけないでください。
- 磁気記憶媒体 (フロッピーディスク、磁気カードなど) に器具を近づけないでください。
- 各種電子機器、映像機器、通信機器 (携帯電話、時計など) に器具を近づけないでください。
- 磁石が破壊する恐れがありますので、器具に衝撃をあたえないでください。
- 磁石が錆びないように、高温多湿環境下で使用しないでください。